

3月 下旬

令和5年度東京都中央卸売市場青果物販売概況

1. 全体の販売概況

開市日8日(前年比 ±0日)

入荷量 : 44,765トン(前年:46,933トン 前年比95%)      kg単価 : 395円(前年:318円 前年比124%)

主要野菜では、だいこん・なす・トマト・にんじん・はくさい・レタス・ばれいしょ・たまねぎ等の殆どの品目が前年に比べ単価高となった。野菜のみで見ると入荷量前年比95%、単価同126%と大幅な単価高となった。一方で、メキシコ産が豊作で潤沢な入荷続かばおちゃは前年に比べ単価安となった。

2. 埼玉県主要品目の販売概況(東京都中央卸売市場)

品目	項目	3月下旬 東京都中央卸売市場販売実績			今後の見通し (4月上旬~ 4月中旬)	3月下旬 出回り 主力産地			摘要
		本年	前年	前年比					
小松菜	入荷量(t)	420	425	99%	入荷量 ↗	茨城	埼玉	東京	3月下旬結果 茨城産主力に埼玉産の加わる出回りとなった。茨城産は、低温により生育停滞し前旬に比べ入荷は大幅な減少となった。販売面では、ほうれん草の入荷が少なく、小松菜の特売は多く組まれ不足感が強まり堅調相場で推移した。価格は、埼玉産AM袋で前半70-60円、後半80-60円の強含みで推移した。
	価格(円/kg)	374	219	171%	価格 ↘	67%	17%	5%	4月上旬~4月中旬見通し 引き続き、茨城産主力に埼玉産の加わる出回りとなろう。茨城産は好天の予想から生育回復し、順調な入荷を見込む。値頃感から特売も多く設定されているがほうれん草の入荷は増加する予想から相場は軟調となる見通し。4月上旬の価格は、埼玉産AM袋で70-50円の弱含みを見込む。
ほうれん草	入荷量(t)	488	517	94%	入荷量 ↗	茨城	群馬	埼玉	3月下旬結果 茨城・群馬産中心の出回りとなった。茨城産は、2月に前進化した反動で端境となり入荷量は減少した。群馬産は、平場地区の生育が進み入荷量は増量となった。量販店の特売は発注が少なく荷余り感が強く販売は堅調となった。価格は、群馬産AM袋で前半110-80円、後半120-90円と強含みで推移した。
	価格(円/kg)	553	436	127%	価格 ↘	43%	38%	7%	4月上旬~4月中旬見通し 引き続き、茨城・群馬産中心の出回りとなろう。関東産は、降雨は多いが気温は高い予報から生育順調となり出荷量は増量を見込む。値頃感から量販店では特売も多く組まれているが荷余り感が強まり軟調相場を見込む。4月上旬の価格は、群馬産AM袋で100-80円の弱含みを見込む。
きゅうり	入荷量(t)	1,921	1,931	99%	入荷量 ↗	群馬	宮崎	埼玉	3月下旬結果 群馬・宮崎・埼玉産中心の出回りとなった。群馬・宮崎産は、天候不順と気温低下により生育停滞し出荷量は減少となった。特売も一部で組まれたが末端の荷動きは鈍く相場は軟調となった。価格は、埼玉産Aコンテナで前半2,000円、後半2,000-1,800円の弱含みで推移した。
	価格(円/kg)	383	321	119%	価格 ↘	27%	24%	14%	4月上旬~4月中旬見通し 引き続き、群馬・宮崎・埼玉産中心の出回りとなろう。群馬・埼玉産は、天候が安定しない予報だが気温上昇により出荷量は増量する見込み。宮崎産は、曇雨天が続く予報で出荷量は減少の見通し。販売面では、量販店の特売も多く組まれているが総体量の増加から荷余り感が強まり、4月上旬の価格は、埼玉産Aコンテナで1,800-1,600円の弱含みを見込む。

品目	項目	3月下旬 東京都中央卸売市場販売実績			今後の見通し (4月上旬～ 4月中旬)	3月下旬 出回り 主力産地			摘 要	
		本年	前年	前年比						
ねぎ	入荷量 (t)	1,325	1,284	103%	入荷量 ↘	千葉	埼玉	茨城	3月下旬 結果	千葉・埼玉・茨城産中心の出回りとなった。千葉・埼玉産は、冬ねぎが終盤で春ねぎの増加が遅れ入荷量は減少となった。茨城産は、春ねぎが増量し入荷量は若干の増加となった。量販店では売り場を狭める時期だが総体量の減少から、不足感が強まり荷動きは活発となった。価格は、埼玉産Lバラで前半2,200-1,800円、後半2,300-2,000円と強含みで推移した。
	価格 (円/kg)	341	229	149%	価格 ↗				37%	
ブロッコリー	入荷量 (t)	1,028	1,278	80%	入荷量 →	香川	熊本	愛知	3月下旬 結果	香川・熊本・愛知産中心の出回りとなった。香川産は、降雨が続き収穫作業が滞り入荷量は大幅に減少した。熊本産が春品種に切り替わり、愛知産は、気温が上がり生育順調で両産地の入荷量は増加した。総体量は減少したことから、不足感強まり販売は堅調となった。埼玉産秋冬ブロッコリー(8kg)の価格は前半2,800-2,400円、後半3,000-2,800円の強含みで推移した。
	価格 (円/kg)	569	343	166%	価格 →				36%	
いちじく	入荷量 (t)	1,932	1,982	97%	入荷量 →	栃木	福岡	茨城	3月下旬 結果	栃木産主力に福岡・茨城産の加わる出回りとなった。栃木産は、3番果の終盤と4番果の出始めの端境となり入荷量は減少した。福岡産は3番果がピークの中盤で入荷量は横這いとなった。気温高で品質劣化が早くなって来たため相場を緩めながらの販売となった。栃木産Lパックの価格は前半430円、後半380円の弱含みで推移した。
	価格 (円/kg)	1,469	1,232	119%	価格 ↘				46%	

### 3. 今後の見通し

九州産新じゃがいもは、鹿児島産が降雨による収穫作業停滞から出荷進度は遅れているが、続く長崎産は生育順調で出荷量も増加する事から入荷が集中する見通し。4月中旬以降に総体量は大幅な増量となる見込み。